

ヒアリング団体による日本語教育人材に求められる資質・能力

| 平成12年「日本語教育のための教員養成について」において「日本語教員として望まれる資質・能力」 |  | 求められる知識  | 求められる技能  | 求められる態度   |
|---|--|--|--|---|
|   |  | 求められる知識  | 求められる技能  | 求められる態度   |
| ヒアリング実施団体によるその他の資質・能力                           |  | <ul style="list-style-type: none"> <li>外国語や学習者の母語(第一言語)に関する知識</li> <li>対照言語学的視点からの日本語の構造に関する知識</li> <li>言語使用に関する知識</li> <li>言語発達に関する知識</li> <li>言語の習得過程に関する知識</li> <li>日本の教育制度に関する知識</li> <li>日本の歴史・文化事情に関する知識</li> <li>諸外国の教育制度に関する知識</li> <li>諸外国に歴史・文化事情に関する知識</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>日本語を正確に理解し的確に運用できる能力</li> <li>言語教育者として必要とされる学習者に対する実践的なコミュニケーション能力</li> <li>外国語や学習者の母語(第一言語)に関する知識、対照言語学的視点からの日本語の構造に関する知識、言語使用や</li> <li>言語発達及び言語の習得過程等に関する知識を活用する能力</li> <li>学習者のニーズに関する的確な把握・分析能力</li> <li>教育課程の編成、授業や教材等を分析する能力</li> <li>教育課程の編成、授業や教材等に対する総合的知識と経験を教育現場で実際に活用・伝達できる能力</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>日本語ばかりでなく広く言語に対して深い関心を有している</li> <li>鋭い言語感覚を有している</li> <li>国際的な活動を行う教育者として、豊かな国際的感覚を有している</li> <li>国際的な活動を行う教育者として、豊かな人間性を備えている</li> <li>日本語教育の専門家として、自らの職業の専門性を有している</li> <li>日本語教育の専門家として、自らの職業の意義についての自覚と情熱を有している</li> </ul>    |
|   | 【全般】   | <ul style="list-style-type: none"> <li>日本語教育や自らの専門性における課題を発見する観点・方法に関する知識</li> <li>おおむね「日本語教育能力検定試験」で求められるものと同等の知識</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>日本語教育における問題、自らの専門性における課題に対し、取り組むことのできる能力</li> <li>リーダーシップ</li> <li>コミュニケーション能力</li> <li>学習者の日本語力を分析し、見極める力</li> <li>学習期間の中で到達目標を定め個別のプログラムを構築することができる力</li> <li>目標設定と学習者自身の到達度を鑑み、プログラムを修正していく力</li> <li>教材に関する知識並びに分析力</li> <li>学習者の学習時間、到達目標に合致した教材を選択し、独自の教材を作成する力</li> </ul>                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>日本語教育の専門家として、自らの専門性に関して客観的に振り返る態度を有している</li> <li>一般常識を備えている</li> <li>異文化を受け入れる柔軟性を備えている</li> <li>向上心を持ち、自己研鑽に努めることができる</li> <li>明るく、協調性がある</li> <li>自身が日本語の卓越した表現者であること、あろうとする姿勢</li> <li>コース終了時に、継続したいと思わせるだけの力量と人間的魅力</li> </ul> |
|   | 生活者  | <ul style="list-style-type: none"> <li>日本語教育に関する知識・能力</li> <li>地域社会を理解し、生きる力</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>日本語教育に関する実践能力</li> <li>企画立案能力</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>人とつながりネットワークを構築する力</li> <li>対人関係を築く力</li> </ul>  |
|   | 留学生  |  |  | <ul style="list-style-type: none"> <li>日本語そのものの知識だけでなく、歴史、文化、社会事象等、言語と切り離せない要素を合わせて理解し、教授活動に活かそうとする力</li> <li>学生と正面から向き合い、彼らの目指すところをしっかりと把握して効率良いプログラムを組み立てようとする姿勢</li> <li>自分の持つ知識に固執することなく、日本語研究、教授法の新たな成果を知る努力をする</li> </ul>   |
|   | 就労準備・研修生   | <ul style="list-style-type: none"> <li>一般的な求職活動に関わる基礎知識</li> <li>日本におけるビジネスマナーへの理解</li> <li>事業趣旨と受講者属性への理解</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>課題達成型授業実践のための日本語教育的スキル</li> <li>学んだ知識を運用力に繋げ、活性化させる力</li> <li>教科書を順番に進めるのではなく、運用力を指導する力</li> <li>VT法やTPRを使って音声教授法を活用できる力</li> <li>大きなクラスサイズでも学習者を飽きさせず教える力</li> <li>ファンリテーション能力</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>雇用に関わる社会情勢への関心</li> </ul>  |
|   | 外国人児童生徒等   | <ul style="list-style-type: none"> <li>日本語教育の高いスキルと知識はもちろん、子供の認知能力と言語発達、情緒と社会性、母語と母文化の役割、現在の学校教育課程・学校文化に対する知識など年少者を教えるために必要な知識</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>子供が日本語に興味を持って取り組めるよう楽しく教えるスキルがある</li> <li>(日本の学校教育の中でしっかりと勉強できるよう)、早い段階から教科学習につなげる視点を持って指導できる</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>子供が自信を持って、もっと学びたいという気持ちになるよう励まし、一緒に喜べる共感力、子供の発達段階と現在の能力を冷静に見極める分析力、この二つをバランスよくもっている</li> <li>人格的に高い教養を持ち、大きなスケールで物事をとらえられる力</li> <li>教員と連携を図り、互いの得意分野を出し合い教育に生かす力</li> </ul>   |
| 海外  | <ul style="list-style-type: none"> <li>移住に関する知識</li> <li>派遣先社会の事情一般に関する基本的な知識</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>派遣先の社会において社会的生活をすることができる能力</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>日系日本語学校教師として日系人のアイデンティティについての自覚を有している</li> <li>派遣先の社会の標準的な環境で社会的生活を行う意志を有している</li> </ul>  |   |
| 日本語指導補助者  | 技能実習生  | <ul style="list-style-type: none"> <li>技能実習制度に関わる知識</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>技能実習生ができるだけ理解可能なように日本語をコントロールして使うことができる</li> <li>技能実習生の日本語運用力向上を目指した授業活動を企画・実践することができる</li> <li>技能実習生の現実をふまえて教科書等から授業内容を取捨選択できる</li> <li>技能実習の現場から学習が必要な日本語表現等を拾い出すことができる</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>粘り強く練習につきあうことができる</li> <li>技能実習生に対して対等な立場で接することができる</li> <li>技能実習生の状況に応じて励ますことができる</li> </ul>  |
|   | 海外   | <ul style="list-style-type: none"> <li>派遣国の教育制度に関する知識</li> <li>派遣国の歴史・文化事情に関する知識</li> <li>派遣先社会の事情一般に関する基本的な知識</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>派遣先の社会において社会的生活をすることができる能力</li> <li>異文化間調整能力、異文化間コミュニケーション能力</li> <li>相手の文化を尊重する能力</li> <li>企画・協働能力</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>派遣先の社会の標準的な環境で社会的生活を行う意志を有している</li> </ul>  |
| コーディネーター  | 生活者  | <ul style="list-style-type: none"> <li>外国人住民に関係する法制度や課題について理解できている</li> <li>システムの概要(目的・構成・行動計画)が説明できる</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>日本語教室と地域・企業などを結びつけた活動を構想できる</li> <li>システムのガイドラインに沿って関係者との協働のもとコースデザイン・説明会・研修会・教室活動が実施できる</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>日本語教室での交流を通して言語的な歩み寄りの能力を磨き、外国人と住みやすい地域、職場づくりをするに貢献できる人</li> <li>活動を通じ、課題を発見し解決へ導くことができる</li> <li>共通認識をもった関係者と協働できる</li> </ul>   |
|   | 留学生  | <ul style="list-style-type: none"> <li>入国管理制度に関する知識</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>中間管理職としてのリーダーシップ能力</li> <li>マネジメント能力、管理能力</li> <li>緊急時における危機管理能力</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>中間管理職としての立場と役割を認識し、前向きに取り組む意欲を有している</li> <li>日本語、日本文化、日本社会等の理解</li> <li>柔軟性、明るさ、包容力、自他への配慮</li> </ul>  |
|   | 海外   | <ul style="list-style-type: none"> <li>グローバル社会の状況に関する知識</li> <li>業務遂行や問題解決の方法の知識</li> <li>ICTを駆使する知識</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>任国の教育行政や日本語教育事情等に関する情報収集力</li> <li>日本語教育関連事業の企画・立案能力</li> <li>関係する諸機関や関係者との調整・交渉能力</li> <li>業務を円滑に行うための事務処理能力</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>他者と協働できる柔軟性</li> <li>問題解決にあたる積極性、創造性</li> <li>前向きに感情を処理する態度</li> <li>自身を客観的に振り返る態度</li> </ul>  |